



世界へのプレゼントになろう



会長 津田 薫

会長 津田 薫 幹事 森崎 和敏
副会長 前野 克己 副幹事 林 大樹



例会日：毎週火曜日 12:30～13:30
例会場：ホテルアソシア静岡 TEL.054-254-4141
事務所：〒420-0853 静岡市葵区追手町2-12 静岡安藤ハザマビル5F
TEL.054-254-5611 FAX.054-221-0515

◆http://www.wbs.ne.jp/bt/nrc/ ◆E-mail: shizuoka-rc@mail.wbs.ne.jp

2015年9月1日 [火] 第1199回例会 天候：☁

司会進行 森崎 和敏幹事

開会点鐘 津田 薫会長

ロータリーソング 石垣 徳夫会員
「君が代」「奉仕の理想」

ビジター紹介 杉山 直会員
焼津RC 地区ガバナーノミニー 松村 友吉様
〃 直前会長 仲野 和則様
〃 地区幹事(予定者) 倉嶋 伸康様
〃 地区大会実行委員長(予定者) 大石 訓永様
ゲスト卓話 清水映画祭運営委員会代表 上田 紘司様



松村 友吉様

出席報告 杉山 直会員

月日	会員数	出席数	欠席数	メイクアップ	改正出席率
8/17	30(29)	21名	8名	3名	82.76%
8/25	30(29)	24名	5名	—	—
9/1	30(30)	27名	3名	—	—

本日の例会案内 (第1200回例会)

9月8日(火)
クラブフォーラム
基本教育と識字率向上月間に因んで
国際奉仕委員会
(役員 理事会開催)

次のプログラム

9月15日(火)
ゲスト卓話
静岡市企画局長 山本 高匡様
(ガバナー補佐訪問)

会長挨拶 津田 薫会長

今月は「基本教育と識字率向上月間」です。来週の例会ではこの月間に因んだクラブフォーラムが予定されています。地球上には、いまだに政情不安、戦争、内乱、悪い治安などによる流血が絶えない地域が多く存在しますが、これらに共有するものは経済的貧困であり、教育の貧困がこれと密接不可分の関係にあると言われています。

ロータリー活動は国内にとどまらず国際的な視野での奉仕を目指すものであり、実際、我が国の存立や安全も国際社会全体の調和、均衡関係の中でこそ成り立つということを改めて認識せざるを得ません。但し、これを昨今の政治問題と結びつける意図はありません。この月間では、ワールドワイドな奉仕活動の意義を改めて考えてみましょう。

先月、野口ガバナー公式訪問の合同例会の後、ガバナーと懇談する機会がありましたので、少しそのことに触れたいと思います。まずは、MY ROTARYへの登録を是非のことでした。年齢とパソコン利用の頻度とは反比例するようですが、脳の老化を防止する一方法として有効だと思われまます。全員登録を目指したいと思います。次に、ロータリー仲間の意識を高めるため、ロータリーカード(クレジットカード)を皆で持とうということです。今までに資料が何回か配られているので詳細は省略します。利用料がかかるグレードの高いものではなく、普通の無料のカードを検討してみても良いのではないかと思います。また、ガバナーが掲げた10項目の目標の一に「国際大会への参加」があり、2016年5月28日(土)から韓国のソウル市内でRI国際大会が開かれるので是非参加を、とのことでした。ソウルへは東京、名古屋そして静岡の各空港からの航空便があり、短時間で安く旅行ができます。日韓関係、日中関係もほぼ同じですが、政治的問題はさておき、民間レベルでは大変友好的で楽しい旅行と交流が期待できると思います。さらに、当クラブが独自に作成している会員増強用の入会案内のパンフレットが話題となり、ガバナー、当地区ガバナー補佐ともにこれを大変賞賛され、他のクラブでの会員増強活動の参考にしたとのことでした。

会員増強等の月間である先月、ラビンドランRI会長からロータリー会員全員に宛て、会員増強の意義と特に新会員の方々に国際大会への参加をなどとするメッセージが発信されました。その詳細については、MY ROTARY等の情報をご参照頂ければと思います。

幹事報告 森崎 和敏幹事

・次週、役員理事会を開催致します。

スマイル 吉田 空玄会員

■大橋 知文会員
本日の卓話者、上田紘司さんは、清水映画祭を企画しております。

卓話と映画祭、宜しくお願いします。

■杉山 直会員 ■石垣 徳夫会員
松村ガバナーノミニー、倉嶋様、大石様、仲野様、ようこそお越し下さいました。

ご活躍を御祈念申し上げます。

■内田 英男会員
松村ガバナーノミニーはじめ、ノミニースタッフの皆さん、ようこそいらっしゃいました。

御指導よろしくお願ひ致します。

■山田喜久子会員
先日、東京ドーム ネット裏席の御招待を受け、行って来ました。

昨年同様、やはり「中日」が負けました。

まわりは全部巨人ファン。バンザイの声が響き、私の心は悔しさでいっぱいでした。

ゲスト卓話

「マルセルジュグリスを知っていますか？」

清水映画祭運営委員会
代表 上田 紘司様



プロフィール

1943年12月11日生まれ、(旧清水市出身、早稲田大学第二文学部演劇学科卒。)

TBSにて、ドラマのアシスタントディレクター、SDT静岡第一テレビにて、番組ディレクター、イベントプロデューサーなど務める。現在、清水映画祭運営委員会の責任者として、活動しています。

卓話の冒頭、最近の映画について、自分の人生60年以上和洋の映画を数多く見続けてきて感じたこと。最近の若者、特に高校生以上の若者は、社会性をテーマにした映画を見なくなってきている。社会性とは、戦争の悲劇を扱ったものや社会的弱者、非人道的な扱いを受け、また搾取され苦しむ人々など、このようなテーマに関心が薄いのでは。事実、第二次世界大戦で、日本がアメリカと戦ったという事実さえ知らない若者が増えている。反面、中高年齢者は、社会性のある映画を求めている。自分は、映画を通して、ヒューマンイズムという人間の根源を勉強してきたように思う。今、スマホやテレビゲームに熱中し、単純なストーリーしか理解出来ない若者が増えて、これからの日本はどうなっていくのか、心配です。

エレヌジュグリスの碑の建立は、1952年(昭和27年)11月1日、碑の除幕式がその当時の清水市長山本正治の音頭で、フランス大使館員はじめ、能楽師梅若万三郎、清水市民らによって盛大に三保の海岸で行われた。エレヌジュグリスは、一度も日本にも当然清水にも来たこともなく、遠くフランスの地で、古代より伝わっている三保の羽衣伝説に材を得た世阿弥の戯曲「羽衣」に陶酔し、舞踏家であったエレヌ自らお面、衣装を自作し、上演した。しかし、不運にも病死したため、エレヌの夫マルセルジュグリスは、彼女の志を汲み、遺髪を持って、フランスからあこがれの地、三保へやって来たのです。当時市長の山本正治は、突然の来訪者の申し出に、議会から猛反対されますが、日仏の友好を考え、石碑の建立となったのです。それから32年後、1984年(昭和59年)「第一回フランスフェア羽衣まつり」が誕生し、ここ羽衣伝説の地三保で、薪能「羽衣」が上演されたのです。暫くして、フランスフェアという名称はなくなり、「羽衣まつり」として今でも毎年10月に行われています。

さて、エレヌの夫マルセルジュグリスは、どんな人物だったのでしょうか。実は、彼はジャーナリストとして、朝鮮戦争やベトナム戦争などの特派員として来日したが、フランスと日本の文化、特に映画の交流の立役者でもあったのです。ユニフランスという組織の初代最高責任者として、フランス映画を日本にたくさん持ち込み、あのアランドロンや、ジャンギヤパン、ジャンポールベルモント、カトリードヌーブなど出演した映画を配給し、また日本の映画もフランスへたくさん紹介しました。カンヌ国際映画祭への、日本映画進出の足がかりをしてくれたのもマルセルジュグリスです。最近清水市の文化会館の解体の折、倉庫から35mmの貴重なフィルムが見つかりました。それは、1952年、エレヌジュグリスの碑の建立の除幕式を映した記録映像で、フランスにも紹介されたものでした。国際交流が盛んな現在にあって、戦後の復興期に、フランスと清水が羽衣でつながり、今や世界遺産となった三保の地から、姉妹都市であるカンヌ市で行われるカンヌ国際映画祭の夜、薪能「羽衣」を、世界の映画人が集まる場所で上演出来れば、エレヌジュグリスはじめ、マルセルジュグリスも天国から飲んでくれることと思って活動しています。これからも皆様のご支援ご協力のほどよろしく御願ひいたします。



閉会点鐘 津田 薫会長

[担当:大橋(利)]